



大丈夫ですか？ 大丈夫でしょうか・・・？

ソ・ウォンハ神父

昔、神父様やシスターに怒られた経験はありますか？ 恥ずかしいですが、私はかなりあります。寝坊してミサに遅れて御聖体を頂けなかったり、主日のミサに欠席して拳骨も頂きました。侍者や朗読者として奉仕するときも何回か間違えて長い反省の時間も頂きました。

こんな私ですが、神様の恵みとたくさんの信徒の方々のお祈りのお陰で司祭になりました。身近でミサに遅れる方、主日のミサに欠席する方、侍者や朗読者として奉仕の途中、間違ってしまう方と出会っています。同じように怒ったり叱ったりするべきでしょうか？ 本音を言うと色々な状況の対応は司祭の間でも意見が色々あります。

例えば「ミサに遅れた」の基準が入祭までなのか、悔い改めまでなのか、み言葉の典礼までなのか、いつまで入ったら御聖体を拝領して良いのか？ など色々あります。主日のミサに欠席したら必ずゆるしの秘跡を受けるべきと仰る方もいます。事情によっては大丈夫と妥協案を言う方もいます。祭壇で奉仕することに拘りがある方も色々あります。果たして、何が正解でしょうか？ 何となく大丈夫でしょうか？ 確かに教会の中にはたくさんの約束、守ることがあります。しかし、それらが人と人を、さらに人と神様を遠ざけることであれば、それはファリサイ派や立法学者と同じだと思います。だと言って「何でも大丈夫」もいけない考え方です。

皆さんにも是非、ご一緒に考えて頂きたいです。例えば、主日のミサに欠席することは罪ですか？ 私を含め、主日のミサに欠席したことは誰でもあると思います。だから大丈夫？ ではないはずです。ただ、どうしてこのような考えになったのか振り返ってみましょう。

神様は一度も「主日のミサに参加しなさい！」と仰せになったことはありません。おそらく始めは神様がモーセに与えて下さった「十戒」から始まったと思います。第三戒、「主の日を心にとどめ、これを聖とせよ。」主の日を心にとどめるために、聖とするために私達はミサに預かります。悔い改めを始め、いつくしみを願い、神の言葉を聞き、御聖体を頂いて聖となる力と恵みを頂きます。でも、体はミサに参加しているけど、考えと心は全く別のことでいっぱいになっているなら、ミサが終わった後、聖とされたでしょうか？ 体はミサに参加できないけれど、家族のために、隣人のために、別の場所で奉仕しながら神様の愛を証ししていれば、神様は怒るでしょうか？

誰が正しいのか、何が正解なのかは、難しいことです。ただ、誰かが、何かが、人と人を繋げている、人と神様を繋げているなら大丈夫です。人や神様を遠ざけていませんか？ 気をつけましょう。今、もし遠ざけてしまっているならその人は、神様と一番遠くに離れています。神様に近づく信仰を保ちましょう。主は皆さんと共に！